

環境経営レポート

(対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

第17版

作成：2025年4月23日



認証番号0003843



肥後技研株式会社

目 次

	ページ
1. 環境経営方針	1
2. 組織の概要	2
3. 環境経営実施体制	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	6
6. 環境経営目標・実績・取組結果と評価	7
7. 環境経営計画・取組結果と判定	8
8. 環境関連法規への違反訴訟等の有無	10
9. 代表者による評価と見直し	11
10. 取組事例	12

1. 環境経営方針

環境経営理念

肥後技研株式会社は、環境保全の取り組みを重要な経営課題であると認識し、全社員が環境負荷の低減に努め、企業としての社会的責任を果たす。

環境経営方針

1. 目的
全ての事業活動において経済性と環境問題とのバランスに配慮し、快適で豊かな生活環境を実現するため継続的に地域へ貢献すること。
2. 環境関連法規の遵守
当社の事業活動に係る環境関連法規、規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。
3. 環境マネジメントシステムの構築、運用、改善
当社の業務に対し適切な環境マネジメントシステムを構築し、自主的に目標を設定し、実施・運用・評価し、継続的に改善する。
4. 資源、エネルギーの効率的活用
事業活動に必要な資源・エネルギーの有限性を認識し効率的に活用する。
 - ・二酸化炭素排出量を削減する。
 - ・水資源を大切に利用する。
 - ・廃棄物の削減、適正処理、再資源化を推進する。
 - ・環境負荷の少ない製品やサービスを優先的に調達する。
5. 周知
環境教育を通じ全社員の環境意識の向上を図るとともに、協力会社にも周知を徹底し、理解と協力を要請する。
6. 公開
環境保全活動の取り組みは「環境経営レポート」として文書化し、社内外に公開する。

制定 2008年12月26日

最終改定 2025年 4月23日

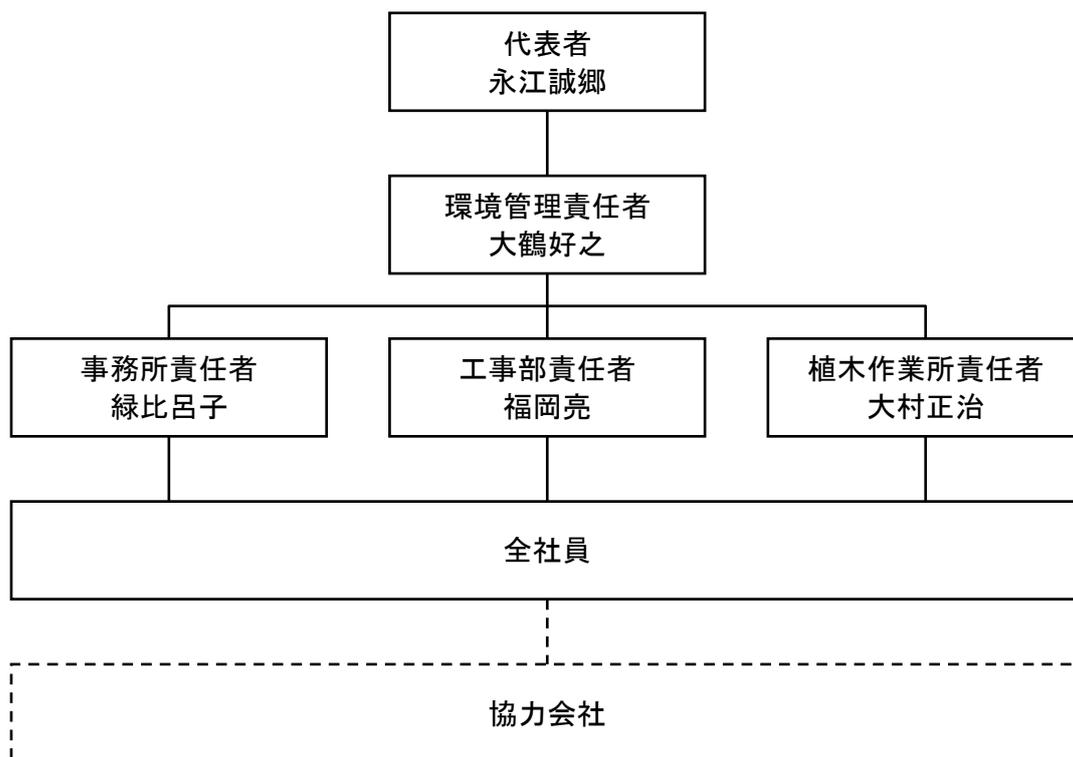
 肥後技研株式会社
代表取締役 永江誠郷

2. 組織の概要

・ 事業者名	肥後技研株式会社																				
・ 代表者名	代表取締役 永江誠郷																				
・ 所在地	【本社事務所】 〒860-0811 熊本市中央区本荘2丁目4番13号 【植木作業所】 〒861-0125 熊本市北区植木町小野412																				
・ 事業規模	<table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th>2021/10/01 ～ 2022/09/30</th><th>2022/10/01 ～ 2023/09/30</th><th>2023/10/01 ～ 2024/09/30</th></tr></thead><tbody><tr><td>完成工事高</td><td>千円</td><td>169,206</td><td>168,759</td><td>102,950</td></tr><tr><td>従業員数</td><td>人</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>床面積</td><td>m²</td><td>257</td><td>257</td><td>257</td></tr></tbody></table>			2021/10/01 ～ 2022/09/30	2022/10/01 ～ 2023/09/30	2023/10/01 ～ 2024/09/30	完成工事高	千円	169,206	168,759	102,950	従業員数	人	6	6	6	床面積	m ²	257	257	257
		2021/10/01 ～ 2022/09/30	2022/10/01 ～ 2023/09/30	2023/10/01 ～ 2024/09/30																	
完成工事高	千円	169,206	168,759	102,950																	
従業員数	人	6	6	6																	
床面積	m ²	257	257	257																	
・ 事業年度	期首：10月 1日 期末： 9月30日																				
・ 登録範囲	【対象事業所 組織】 本社、植木作業所 【業務内容】 建設業 (舗装、土木、石、水道施設、とび・土工) 熊本県知事許可(特定)第2936号																				
・ 環境年度	期首： 4月 1日 期末： 3月31日																				
・ 環境責任者名	環境管理責任者：大鶴好之 { 工事部責任者 : 福岡亮 植木作業所責任者: 大村正治 事務所責任者 : 緑比呂子																				
・ 環境担当連絡先	TEL : 096-366-0201(代) FAX : 096-366-9472 E-mail : info@higogiken.co.jp																				

3. 環境経営実施体制

(1) 体制図



(2) 担当、権限

担 当	権 限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営理念と方針の策定、改定 ・全体の評価と見直し方針の指示 ・資源(ヒト・モノ・カネ)の用意 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育、訓練の実施 ・環境関連文書及び記録作成 ・環境経営レポート作成、公開
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・実施体制構築、各部門責任者指名 ・環境関連法規等取りまとめ ・環境関連文書及び記録の管理 	
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境上の緊急事態への準備、対応 ・環境負荷と環境活動状況把握 ・取組状況確認及び問題点是正 	
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標及び環境経営計画策定 ・環境関連活動実施及び運用 ・環境に関する外部との窓口 	

4-1. 環境経営目標

策定:2024年 4月 8日

区分	課題	対象	重点項目	基準年度 2023	計画期間 2024~2026
省エネルギー	二酸化炭素排出量削減	全社	電気使用量 ※	4304.9kg-Co2	基準年度から 年2%以上改善
			化石燃料使用量	ガソリン 6029.8kg-Co2 軽油 5473.9kg-Co2 都市ガス 16.1kg-Co2	
リサイクル	廃棄物排出量削減	全社	一般廃棄物排出量	0.0590t	
推進		工事部	産業廃棄物排出量	・マニフェスト伝票と運搬処分の立入で全案件適正処理確認。 ・再資源化率は、がれき類(As、Co殻)は100%、全体で95%以上。	
節水	排水量削減	事務所	使用水量	66.0m3	基準年度から 年2%以上改善
環境保全	グリーン購入	全社	グリーン購入法適合品の調達	【事務所】 ・間伐材活用(名刺用紙) ・HGN-2-K(スタンプ台) ・A4-RIFN(個別フォルダー) ・コクヨOAクリーナー(クリーナー) ・41512708(トイレトペーパー) 【工事部、植木作業所】 ・UB-108L(区画線ビーズ) ・G-649(軍手) ・エコチョーク72(チョーク) ・MEA10B(消火器) ・再生トイレトペーパー	特に工事部につき 毎年前年度以上
	関連法規制の遵守	工事部・植木作業所	有害物質の環境への影響	法令違反 行政指導 苦情件数 0	3ヵ年で 法令違反 行政指導 苦情件数 0
			低騒音・排出ガス対策型機械の使用		
地域貢献活動		全社	地域の公共施設における社会貢献	12時間以上	年間14時間以上

4-2. 環境経営目標

作成日：2024年 4月 8日

項目		単位	基準年度	計画期間 (年2%改善)			
			2023	2024	2025	2026	
温室効果ガス 排出量	二酸化炭素	kgCO2	15823.21	15506.74	15190.28	14873.81	
廃棄物の 排出量と 最終処分量	一般 廃棄物	再資源化量	kg	44.67	43.77	42.88	41.99
		最終処分量	kg	3.67	3.59	3.52	3.45
		再資源化率	%	92.41	94.26	96.10	97.95
	産業 廃棄物	再資源化量	t	1317.40	1291.06	1264.71	1238.36
		最終処分量	t	7.15	7.01	6.87	6.72
		再資源化率	%	99.46	100.00	100.00	100.00
水使用量	上水	m3	66.00	64.68	63.36	62.04	
総排水量	下水	m3	66.00	64.68	63.36	62.04	
エネルギー使用量	購入電力 (新エネルギーを除く)		kWh	8987.33	8807.59	8627.84	8448.09
	化石 燃料	ガソリン	L	2598.34	2546.38	2494.41	2442.44
		軽油	〃	2097.30	2055.35	2013.41	1971.46
		都市ガス	m3	6.00	5.88	5.76	5.64

5. 環境経営計画 2025年度

策定：2025年04月10日
取組期間：策定～2026年03月31日

項目	具体的な取組内容	該当するSDGsの目標17項目
化石燃料 使用量	<ul style="list-style-type: none"> 使用前、及び定期点検の徹底 車間距離を保ち定速走行 不要な荷物を積載しない リモート臨場を提案 	      
電気、 ガス 使用量	<ul style="list-style-type: none"> 照明の一部をLEDに交換 節電シールの貼付により取組意識を高める エアコン使用時間の短縮 省エネ製品の導入 	     
廃棄物 排出量	<ul style="list-style-type: none"> マイバック、袋を複数持参 買いかえ前に修理を検討する 過剰包装をしない、または断る 	      
紙使用量	<ul style="list-style-type: none"> 再利用紙、再生用紙以外は別使用方法を検討 使用済み封筒は社内事務連絡等に再使用 両面又は集約コピー・印刷を推進 	    
産業 廃棄物 排出量	<ul style="list-style-type: none"> 再生の負担を減らすため分別を徹底して排出 適切な委託業者の選定 環境負荷の少ない工法、材料の提案 	        
使用水量	<ul style="list-style-type: none"> 節水シールの明示で取組意識を高める 定期的に検針メーターで漏水を確認 洗車はバケツに水を汲み置き使用する 	     
グリーン 購入 適合品 の調達	<ul style="list-style-type: none"> グリーン購入法適合品の優先調達 使用期間が長い製品を購入 地産地消、旬産旬消を積極的に推進 	    
有害物質 の 環境への 影響	<ul style="list-style-type: none"> 法規制の遵守 廃棄物は焼却ではなく処分を委託 ゴミ分別ボックスを設置 	      
低騒音・ 排出ガス 対策型 機械 の使用	<ul style="list-style-type: none"> 適正燃料の使用 規制適合建設機械の使用促進 特定自主検査、検査済標章の貼付確認 	     
地域の 環境美化 活動等	<ul style="list-style-type: none"> 本社所在地域の道路における美化活動 現場周辺の公共施設等における美化活動等 業界団体の地域貢献活動への参加 	       

6. 環境経営目標・実績・取組結果とその評価

判定日：2025年 4月 8日

項目		単位	目標 年2%改善	実績 2024年度	達成率 (%)	
温室効果ガス 排出量	二酸化炭素	kgCO2	15506.74	15121.77	103	
廃棄物 排出量	一般廃棄物 再資源化量	kg	43.77	47.00	93	
	産業 廃棄物	がれき類 (As、Co殻)	%	94.26	100.00	106
	再資源化 率	全体	〃	94.26	100.00	106
水使用量 総排水量	上水 下水	m3	64.68	67.00	97	
エネルギー 使用量	購入電力 (新エネルギーを除く)		kWh	8807.59	9480.00	93
	化石 燃料	ガソリン	L	2546.38	3018.22	84
		軽油	〃	2055.35	1645.61	125
		都市ガス	m3	5.88	6.00	98

低達成率項目の原因と対策(80%未満は要改善)

項目	原因	次年度の取組
一般廃棄物 再資源化量	紙	工事内容によるものであり不要
購入電力	空調機器	全国的な低温傾向によるものであり不要
ガソリン	・遠方移動 ・個別移動	・工事内容によるものであり不要 ・乗り合わせ

7-1. 環境経営計画 2024年度の前期取組の判定

策定：2024年04月10日
 取組期間：策定～2024年09月30日
 判定：2024年10月08日

区分	課題	担当 責任者	項目	具体的な取組内容	判定
省エネルギー	二酸化炭素 排出量削減	全	化石燃料 使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・運転前に目的地までのルートを確認 ・リモート臨場を提案 ・過積載防止確認 ・季節に応じたエンジンオイル粘度 	○ △ ○ ○
			電気、ガス 使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン室温設定は冷房28℃、暖房20℃ ・昼休みなどの休憩時等、消灯の徹底 ・残業をなるべく控える ・ブラインド、窓、ドア、服装で温度管理 	○ ○ ○ △
リサイクル推進	廃棄物 排出量削減	全	廃棄物 排出量	<ul style="list-style-type: none"> ・空き箱、容器は工夫して再利用 ・詰替え再使用可能なものを調達 ・ウエスは不要となった服を再利用 	○ ○ △
		事務所	紙使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・文書・図面を電子化・共有し印刷物を削減 ・情報交換共有システムの活用 ・印刷前に設定を確認 	○ ○ △
		工事部	産業廃棄物 排出量	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な委託業者の選定 ・環境負荷の少ない工法、材料の提案 ・排出運搬処分の適正処置を伝票・立入で確認 	○ ○ ○
節水	排水量削減	全	使用水量	<ul style="list-style-type: none"> ・水圧を制限し、蛇口をこまめに閉める ・洗車はバケツに水を汲み置き使用する ・定期的に検針メーターで漏水を確認 	○ △ ○
環境保全	グリーン 購入	全	適合品の調達	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品の優先調達 ・購入数量を見直しコストを削減する ・納入業者に情報提供や協力を依頼 	○ ○ ○
	関連法規制 の遵守	工事部・ 植木 作業所	有害物質の環 境への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・油水分離槽は定期的に点検整備 ・作業所壁面のツタに2～3月頃腐葉土を与える ・廃棄物は焼却ではなく処分を委託 	○ ○ ○
			低騒音・排出 ガス対策型機 械の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮型機械、機器類を優先調達する ・特定自主検査、検査済標章の貼付確認 ・アイドリングストップ 	○ ○ ○
地域貢献 活動	全	地域の環境美 化活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・本社所在地域の道路における美化活動 ・現場周辺の公共施設等における美化活動等 ・業界団体の地域貢献活動への参加 	○ ○ ○	

判定基準

○：無意識に取り組んでいる。指示、注意等何も必要ないが重要。

△：意識して取り組んでいる。指示、注意等を要する場合がある。

×：取り組みが不足している。取り組み方に改善が必要。

代表者と環境管理責任者が協議して判定する

7-2. 環境経営計画 2024年度の後期取組の判定

策定：2024年10月08日
 取組期間：策定～2025年03月31日
 判定：2025年04月08日

区分	課題	担当 責任者	項目	具体的な取組内容	判定
省エネルギー	二酸化炭素 排出量削減	全	化石燃料 使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・運転前に目的地までのルートを確認 ・リモート臨場を提案 ・過積載防止確認 ・季節に応じたエンジンオイル粘度 	○ ○ ○ ○
			電気、ガス 使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン室温設定は冷房28℃、暖房20℃ ・昼休みなどの休憩時等、消灯の徹底 ・残業をなるべく控える ・ブラインド、窓、ドア、服装で温度管理 	○ ○ ○ ○
リサイクル 推進	廃棄物 排出量削減	全	廃棄物 排出量	<ul style="list-style-type: none"> ・空き箱、容器は工夫して再利用 ・詰替え再使用可能なものを調達 ・ウエスは不要となった服を再利用 	○ ○ ○
		事務所	紙使用量	<ul style="list-style-type: none"> ・文書・図面を電子化・共有し印刷物を削減 ・情報交換共有システムの活用 ・印刷前に設定を確認 	○ ○ △
		工事部	産業廃棄物 排出量	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な委託業者の選定 ・環境負荷の少ない工法、材料の提案 ・排出運搬処分の適正処置を伝票・立入で確認 	○ ○ ○
節水	排水量削減	全	使用水量	<ul style="list-style-type: none"> ・水圧を制限し、蛇口をこまめに閉める ・洗車はバケツに水を汲み置き使用する ・定期的に検針メーターで漏水を確認 	○ ○ ○
環境 保全	グリーン 購入	全	適合品の調達	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品の優先調達 ・購入数量を見直しコストを削減する ・納入業者に情報提供や協力を依頼 	○ ○ ○
	関連法規制 の遵守	工事部・ 植木 作業所	有害物質の環 境への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・油水分離槽は定期的に点検整備 ・作業所壁面のツタに2～3月頃腐葉土を与える ・廃棄物は焼却ではなく処分を委託 	○ ○ ○
			低騒音・排出 ガス対策型機 械の使用	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮型機械、機器類を優先調達する ・特定自主検査、検査済標章の貼付確認 ・アイドリングストップ 	○ ○ ○
地域貢献 活動	全	地域の環境美 化活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・本社所在地域の道路における美化活動 ・現場周辺の公共施設等における美化活動等 ・業界団体の地域貢献活動への参加 	○ ○ ○	

判定基準

○：無意識に取り組んでいる。指示、注意等何も必要ないが重要。

△：意識して取り組んでいる。指示、注意等を要する場合がある。

×：取り組みが不足している。取り組み方に改善が必要。

代表者と環境管理責任者が協議して判定する

9. 代表者による全体の評価と見直し

代表者 見直し完了日：2025年04月25日

環境管理責任者確認：2025年04月25日

環境経営システムが有効に機能しているか	基準年度に対し、その後3年間における推移を比較する方法へとシフトした。電気使用量の増加が目立つため、月単位や機器単位での推移を把握していくが、これに限らずシステム全体の調和を図りたい。
環境への取組は適切に実行されているか	環境負荷は常に意識し、目標達成に向けた取り組みを着実に実行するべく、その進捗を定期的に評価・見直している。事業活動が環境活動と反する場合の対策等、さらなる効果的な運用を目指す。

項目	評価	変更の必要性	見直し
環境経営方針	システムの根幹であり、基本的枠組みに変更はない	-	-
環境経営目標	影響が大きい産業廃棄物、工事量や内容に左右されない電気使用量を重点項目としている	-	-
環境経営計画	例えば感染対策のように、基礎となる対策が大切であり、そこからさらに自発的実践につなげたい	有	特に暖房機器の電気使用量については、調査と改善の結果を踏まえ目標を設定する
環境経営システム	システム自体が浸透してきている実感はあるが、改善が停滞しており、新たな改革が求められる	有	社会的要請が多様化する中でも、常に環境方針に立ち返り、自社に即した手法を目指す
実施体制	現体制での運用を継続	-	-
環境教育訓練 法令等順守 緊急事態対応	緊急対応は健康や安全と併せ最重要事項であり、手順確認と訓練を定期的実施する	-	-
外部要望・苦情等	処理手順を簡素化したことで、状況に応じた迅速な対処が可能となったと評価している	-	-
是正・予防処置	冬の電気使用量については、個別の空調機器ごとに数値化可能となった点を特に評価したい	有	判明した原因を全員に周知し、使用方法の改善を徹底し、年間を通じた成果を確認したい
環境経営レポート	正確な状況把握の継続と積極的な情報公開が、当社の環境活動の信頼性に直結する	有	今後も継続してグラフや画像を積極的に採用し、簡素で見やすい視覚表現の配慮に努める

※見直し事項は、是正・予防処置の対象とする。

10. 取組事例

- 環境配慮型商品の調達



- エアコン設定温度

2F 事務室



2F 応接室



3F 会議室

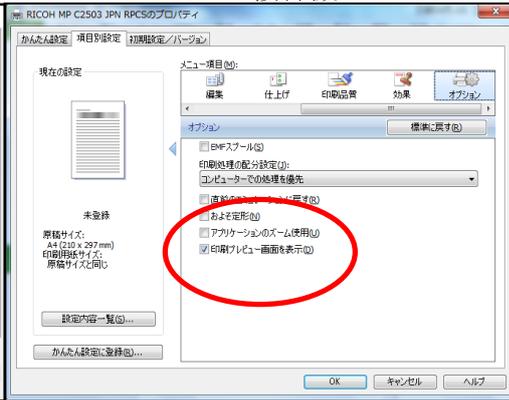


- 印刷前プレビュー表示(プリンタドライバ設定)

インクジェット



複合機



- 再利用紙

再生用紙、乾電池



- FSC森林認証紙



・ 節水コマ

通常のコマ



節水コマ(熊本市上下水道局料金課)



交換前(事務所)



交換後(事務所)



・ 植木作業所

油水分離槽 設置・維持管理



吸着砂袋、低毒性流出油処理剤



油吸着分解材



・アスファルト付着防止剤（アスクリーン）



・油吸着分解材「スノムワイド」



・低毒性流出油処理剤「アースクリーン」



・地域貢献活動



弊社では、県産資材、地元企業、環境に配慮した新工法・材料を優先して採用するほか、以下の事業・制度等の趣旨に賛同し積極的に取り組んでおります。

●環境

「エコアクション21」認証・登録(2009年～)

(IPSuS一般財団法人持続性推進機構)

(環境省総合環境政策局環境経済課)

「COOL CHOICE」賛同登録(2016年～)

(環境省地球環境局地球温暖化対策課)

「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」参加登録(2011～2018年、自主取組2019年～)

(環境省地球環境局地球温暖化対策課)

(熊本県環境生活部環境局環境立県推進課)

「くまもとEcoプロジェクト推進事業」参加登録(2009～2011年)

(熊本県環境生活部環境局環境立県推進課)

「くまもとらしいエコライフ宣言」宣言登録と

「熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議」会員登録(2010年～)

(熊本県環境生活部環境局環境立県推進課)

「事業活動温暖化対策計画書制度」と

「エコ通勤環境配慮計画書制度」任意提出(2014年～)

(熊本県環境生活部環境局環境立県推進課)

「くまもと県民節電所」会員登録(2014～2017年)

(熊本県商工観光労働部新産業振興局エネルギー政策課)

「くまもとグリーン農業」応援宣言(2019年～)

(熊本県農林水産部生産経営局農業技術課)

「市電緑のじゅうたん事業」オフィシャルサポーター(2009年～)

(熊本市環境局保全課)

「阿蘇市ASO環境共生基金」支援(2009年～)

(阿蘇市役所企画振興課)

「建設副産物情報交換システム」ユーザー登録(2003年～)

(一般財団法人 日本建設情報総合センター)

「キレイライフプラス」(旧：省エネ快適ライフ)会員登録(2014年～)

(九州電力株式会社)

●地域貢献

「熊本県ロード・クリーン・ボランティア」

(熊本県土木部道路都市局道路保全課)

- ・活動参加(2006～2011年)(県建設業協会舗装部会熊本市地区)
- ・協定締結(2008～2011年)(自社独自)

「熊本県くまもとマイ・リバー・サポート」協定締結(2012年～)

(熊本県土木部河川港湾局河川課)

「熊本市道路ふれあい美化ボランティア」(2012年～)

(熊本市都市建設局土木部土木総務課)

- ・活動参加(県建設業協会舗装部会熊本市地区)
- ・協定締結(自社独自)

「熊本県PR事業者登録」(くまモンイラスト利用)許諾(2011年～)

(熊本県庁観光経済交流局くまもとブランド推進課)

「大規模災害時の支援活動に関する基本協定」締結(2006年～)

(熊本県、県建設業協会舗装部会)

「災害時応急活動に関する協定」締結(2009年～)

(熊本県政策局危機管理防災総室、県道路舗装協会)

●健康

「ヘルスター健康宣言」参加(2017年～)

「ヘルスター認定制度」(2017年～)

(全国健康保険協会(協会けんぽ)熊本支部)

「くまもとスマートライフプロジェクト」応援団登録(2018年～)

(熊本県健康福祉部健康づくり推進課)

「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」認定(2024年～)

(日本健康会議、経済産業省)

●社会

「建設キャリアアップシステム」事業者・技能者登録(2018年～)

(一般財団法人建設業振興基金)

「熊本県SDGs登録制度」登録事業者(2022年～)

(熊本県企画振興部企画課)

「九州SDGs経営推進フォーラム」会員登録(2022年～)

(経済産業省九州経済産業局総務企画部企画調査課)

環境経営レポート
2025年4月 第17版
2009-2024年度

熊本県知事許可(特定)第2936号
舗装・土木一式工事、施工管理
(一社)熊本県道路舗装協会会員
(一社)熊本県建設業協会舗装部会会員
(公社)日本道路協会正会員

肥後技研株式会社

〒860-0811
熊本市中央区本荘2丁目4番13号
TEL : 096-366-0201(代)
FAX : 096-366-9472
E-mail : info@higogiken.co.jp

【植木作業所】

〒861-0125
熊本市北区植木町小野412